

提 言 書

— 令和 6 年度議会報告会を終えて —

栗山町議会

はじめに

栗山町議会の議会報告会は、平成17年3月に宮城県本吉町（当時）に続き、全国2例目として開催して以来、今年で19年目を迎えました。

今年の報告会は、令和7年2月2日から2月14日までの日程で、「議会の活動状況について」をテーマに町内14会場において開催し、243名の町民の参加がありました。

報告会においては、数多くの意見が出され、これらの意見や要望については、議会から行政に対して提言するもの、常任委員会における所管事務調査に反映するもの、議員個々に取り上げるものなどにそれぞれ分類をいたしました。

この提言書は、議会内での討議を経てまとめたものであり、町民からの貴重な政策提案として、今後の行政運営の一助とされることを期待します。

令和7年3月31日

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦

1. 諸課題に対する提言・要望

□バスの運行について

(議会の見解・提言)

町営バスデマンド区域において、発車時刻、乗降場所等が運転者によって異なることがある。町民が安心して利用できるよう統一してもらいたい。また、町民の利便性向上を考え、他の公共交通機関との乗り継ぎを考慮した運行や土・日曜日の運行の検討、また、栗山高校への通学手段として、民間バス会社も含めより利用しやすいダイヤについて検討してほしい。

(報告会おける町民からの発言)

- ・町営バスのデマンド区間において、発車時刻・乗降場所等が運転手によって違うため、安心して利用できない。
- ・高速くりやま号の栗山駅着が17時13分だが、17時10分に町営バス日出線が発車する。乗り継ぎができるようにダイヤを考えてほしい。
- ・栗山高校から中央バスを利用して帰宅する場合、授業の終了時間とバスの時間が合わない。
- ・イベント等は土・日曜日が多いが、バスが運休のため参加できない。
- ・土・日曜日の移動手段がなく、出かけられない。土日ダイヤなど工夫して対応できないか。

□避難経路について

(議会の見解・提言)

錦地区から指定避難所に避難するためには、現在アンダーパス及び跨線橋を通る必要がある。災害時、どちらも通行できなくなる可能性があるため、避難経路として線路を横断できるようにJ R北海道と協議を進めてもらいたい。

(報告会おける町民からの発言)

- ・線路を渡ると罰則があるため、避難経路として横断できるようにJ R北海道と協議してほしい。

□角田地区での買い物について

(議会の見解・提言)

現在、角田地区において食料品や日用品等を買うことができる店舗がないため、住民は不便や苦勞を感じている。角田地区でも買い物できるような対策を検討願う。

(報告会おける町民からの発言)

- ・菊池病院跡地に買い物できるような店舗ができればいいと思う。

栗山町議会